

## 研究課題名「遠隔生活習慣改善プログラム開始前の病歴および生活習慣と半年間の身体活動セルフモニタリングの実行状況の関連」に関する情報公開

### 1：研究の対象

生活習慣病の重症化予防プログラムに参加した者

### 2：研究目的・方法・研究期間

#### 【研究目的】

スマートフォンやウェアラブル機器の普及により、日常生活で身体活動量を確認することが容易になりました。このように生活習慣を自分で記録して確認すること（セルフモニタリング）は、結果的に生活習慣を改善する行動に繋がり、高血圧や糖尿病などの生活習慣病予防に役立つことが知られています。そのため、医療従事者が生活習慣改善の支援を行う際は、対象者のセルフモニタリングの実施状況を確認することが重要となります。

さらに、対象者のセルフモニタリングの経過を予測することは、個人に合わせた助言や指導計画の立案に役立つと考えられます。しかし、身体活動量のセルフモニタリングの経過を予測する方法は十分に検討されていません。そこで本研究では、生活習慣病の重症化予防プログラムに参加された方の身体活動量のセルフモニタリングの実行状況を分析し、病歴や他の生活習慣との関連を検討することを目的としています。

#### 【方法】

本研究は名古屋大学で実施されている「遠隔ライフスタイル指導の効果に影響する対象者特性、目標設定および指導者からのフィードバックの構成要素に関する包括的データ分析」の調査データを二次的に利用させていただくものです。対象者に新たな検査を行うものではありません。今回は上記研究で調査された結果を二次的に利用させていただきます。

#### 【研究期間】

実施承認日から 2025 年 3 月 31 日

### 3：研究に用いる試料・情報の種類

生活習慣・既往歴に関する質問（標準的な質問票）、性別、身長、体重、腹囲、血圧、採血結果（新たに検査を行う訳ではありません）、処方薬剤（降圧薬・糖尿病治療薬・脂質異常症治療薬などの生活習慣病の治療目的で処方されたと考えられるもの）、入院および受診歴、歩数等

#### ※データの取り扱いについて

主研究で用いているデータセットから、本申請課題の実施に必要な情報のみを抽出したデータセットを研究代表者が作成し、ファイルにパスワードをかけた上

で、パスワード付き USB に保存します。尚、主研究のデータセットは研究代表者が共同研究機関より提供を受ける段階で個人を特定できる情報は一切含んでおりません。USB は研究実施期間（卒業研究実施期間）は名古屋大学大幸キャンパス南館 228 研究室の鍵付きロッカーにて厳重に保管します。データ解析は、パスワード管理が可能な研究用申請者（学生）が行うデータ解析は、パスワード管理が可能な研究用 PC のみで行い、個人の PC では実施しません。データ廃棄に関しては研究終了後、名古屋大学大幸キャンパス別館 4 階基礎理学療法学研究室にて 10 年間保管した後、USB を物理的方法で破壊してデータを完全に破壊します。

#### **4：お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

#### **連絡先（研究責任者）：**

名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻  
助教 足立拓史

〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL/FAX 052-719-1365

メールアドレス adachi.takuji.i2@f.mail.nagoya-u.ac.jp

#### **苦情の受付先：**

名古屋大学医学部保健学科 総務係

電話 052-719-1504